



埼玉県経営品質協議会
浅見 一廣 運営委員長

そして、それを実践し、埼玉県経営品質賞推進賞、さらには知事賞への申請を目指していただくことを、来期活動の柱としてお手伝いしてまいります。

その実現に向けた支援策として、現在いくつかのプログラムを準備しております。新入会組織や次世代リーダーの皆様には、入門研修として「もしドラ」でマネジメント入門」の開催を予定しています。ドラッカーの理論を題材に、対話を通じて組織運営の基本を共に考える、経営品質への入り口として親しみやすい場にする予定です。また、経営層の皆様には「ケースで学ぶ『経営の設計図』作成講座」を計画しています。これは知事賞等を受賞した企業の事例から学び、自社の「ありたい姿」を形にする実践的な講座です。2026年度からは設計図の様式も新しくなる予定で、より使いやすい計画策定が可能となるよう準備を進めております。さらに、変革をリードする方を育てる実践推進者コース」の展開も検討中です。経営品質をより深く理解し、自組織の振り返りや申請書作成に役立つスキルを、共に磨く場にしたいと考えています。また、他地域の協議会との交流も広げ、共に刺激し合える関係を築いてまいります。

経営品質とは、組織が「ありたい姿」を実現するための終わりのない旅のようなものです。社員が生き活きと働き、価値を創造し続ける「良い経営」を埼玉の地に広げていくために、ぜひ多くの皆様の参画をお待ちしております。一歩ずつ、共に学び、共に成長してまいります。

運営委員長 浅見 一廣

今後の予定

顧客価値フォーラム開催について

2025年度の埼玉県経営品質表彰式ならびに受賞組織のトップスピーチ、取り組み事例報告や、受賞組織のトップ同士による座談会などを包括した顧客価値経営フォーラムを5月21日の午後さいたま商工会議所会館で開催します。埼玉県経営品質賞は、11月から2月にかけて審査チームが申請書とトップコミュニケーション、組織訪問、社員インタビューを通じて評価し、審査レポートを書き上げ、それを3月の判定委員会が判定し、賞委員会で賞が決定するという4か月にわたる精緻な審査プロセスに拠っています。

当日は、賞委員長の埼玉大学の坂井貴文学長に表彰状の授与と審査総括をしていただきます。

入場は無料ですので、お知り合いの経営者にお声がけください。

発行：埼玉県経営品質協議会
https://www.sqa-net.com
〒330-9626 さいたま市大宮区桜木町 1-7-5
ソニックシティビル8階 さいたま商工会議所内
TEL 048-641-0084 FAX 048-643-2720

..... CONTENTS

- 経営品質賞受賞企業訪問報告～2024年度 日本経営品質賞受賞 トップ保険サービス株式会社～
- “もしドラ”でマネジメント入門研修～経営品質初級編～ 開催報告
- 実践推進者コースC1の開催報告
- 顧客価値経営フォーラム in 埼玉開催について

小松代表幹事 挨拶



埼玉県経営品質協議会
小松 君恵 代表幹事

会員の皆様におかれましては、益々ご繁栄のことと拝察申し上げます。私ども「埼玉県経営品質協議会」の活動は、全国の経営品質活動の中でも活発であり、強い埼玉経済に貢献している企業を数多く輩出している経済団体になってきていると自負しております。これも、会員企業の協力や運営委員会の企画力さらには、事務局を担って下さっているさいたま商工会議所のご尽力のおかげであります。

足元の中堅・中小企業経済は、「価格転嫁」「人材不足」「海外情勢」等の影響を受け、厳しさを増しておりますが、常に「ありたい姿」に向って「企業変革」し、この厳しい経済環境の荒波と一緒に乗り越えてまいりましょう。

そして、今一度私どもの活動の意義を再確認し合い、卓越した経営をする仲間をさらに増やしてまいりましょう。

引き続き会員企業の皆様のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

トップの集い開催報告

11月26日に大宮ソニックシティビルにおきまして「トップの集い」を開催しました。これはゲストスピーカーから講演をいただくとともに、会員組織のトップ同士の交流の場として、毎年行われています。

今回の講演は、C.E.M.マネジメント株式会社代表取締役社長の駒月純氏をお招きし、「トヨタ部品茨城共販(株)の経営改革における組織能力向上の取り組み」を演題に、ご講演をいただきました。講師の駒月氏は、トヨタ自動車に入社して30年間、国内営業ネットワーク育成に携わり、2013年からはトヨタ部品茨城共販株式会社の代表取締役社長を務められ、そこでの経営改革の経験に基づいたビジョンと戦略の構築、変革のためのチームづくりを目指した組織能力向上策、自分で考え動く社員になる自発を促す活動について、大変分かりやすくお話しいただきました。

また、その後の会員交流会では駒月氏にもご参加いただき、各テーブルに分かれて「自由に考え動ける人になってもらうには」など、設定されたテーマについて話し合いが行われました。

なお、「トップの集い」に先立ち開催された「拡大幹事会」では、運営委員から2025年度活動目標に対する進捗状況の報告や規約改正の提案、経営品質賞の動向の説明がありました。

運営副委員長 大久保 忠夫



経営品質受賞 企業訪問報告

日本経営品質受賞組織訪問としてトップ保険サービス(株)様と(株)肥後銀行様を訪問しました。

トップ保険サービス(株)は、福岡県北九州市に本社を置く保険代理店で2017年度と2024年度の2回、日本経営品質賞の本賞を受賞しています。同社は一般的な保険代理店とは一線を画す特徴(新規営業の禁止、事故対応が本業、完全固定給)を持ち、顧客価値経営を実現しています。

社長以外の全員で考え抜いたありがたい姿「幸せ貢献企業」に向かって活動されています。木鶏会や誕生会に参加し社員の皆様と交流させていただきましたが、その家族のような温かい雰囲気を通じて、理念が隅々まで浸透し、高い従業員幸福度が実現されていることを肌で感じることができました。



(株)肥後銀行は、熊本県熊本市に本店を置く銀行で2019年度に日本経営品質賞の本賞を受賞しています。同行は、本部主導から現場が主体的に考え行動する組織への転換を掲げ、支店のブロック再編や大幅な権限移譲を

実施。受賞後も毎年申請書を作成し、行内のアセッサーによる自主審査を継続している点も大きな特徴です。

全行員が「マイパーパス」を策定し、「私が肥後銀行です」という当事者意識を持って活動されている点が非常に印象に残りました。



両社とも対話を重視された活動をされており、その素晴らしいの根源は、徹底した「対話」と、そこから育まれる「人」にあると強く感じました。今回の訪問で学んだ両社の素晴らしい取り組みを、今後の自社の活動を進める上での貴重な参考にさせていただきます。

運営委員 古川 幸治

“もしドラ”でマネジメント入門研修～経営品質初級編～開催報告

参加者には事前に“もしドラ”を読み、事前課題についてご準備いただいた上で3回にわたるワークショップ型研修を開催しました。当日は他社からの参加者とチームを組み、テーマごとの(対話→発表→共有)を通じてマネジメントの基本を体感していただきました。9月の最終回終了後は交流・懇親会を開催し、異業種様々な御会社からの参加者同士の親交を深めることができました。

<3回のテーマ>

【第1回 7/10】「顧客価値経営」とは？

①「顧客・市場(ターゲット)」 ②「ありがたい姿」

【第2回 8/8】③「顧客価値(ニーズ)」

【第3回 9/4】④「組織能力(ノウハウ)」、「経営の設計図」とは？ 講師：コアクリエイト 田原浩(運営委員)

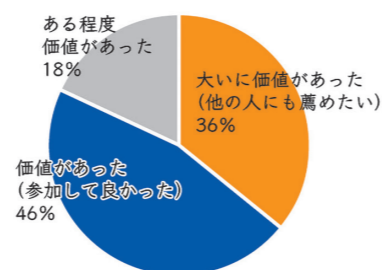


研修対象の方として、①「チーム」を強くするマネジメントとはどのようなものか？ ②指示命令や根性論によらないマネジメントとはなにか？ ③メンバーが自主的に活動するようになるマネジメントとはなにか？ について学びたい、ご自分の仕事に活かしたい方のご案内でしたが、研修終了後のアンケートでは下記の感想、気づきについてご回答いただきました。

「もしドラ研修を通じて自社における顧客、価値について考えることができた」、「各個人の強みを生かすこと、しっかり話し合うことの大切さを学びました」、「マネジメントについても勉強になりましたが、他業種の他部門の方とお話しすることがとても参考になりました」、「中堅層の方々との意見交換の時間が特に印象的で、自分とは異なる立場・視点からの考え方に触れることで視野が広がる面白さを感じました」

運営副委員長 田原 浩

◎ご参加者アンケート結果



実践推進者コースC1の開催報告

「実践推進者コース」は、経営品質協議会が「アセスメントコース」として開催して、累計20万人以上の修了者がいるロングセラー講座です。2022年からリニューアルしました。今回はコース1にあたる「経営の設計図編」を、9月17日(水)と18日(木)に大宮ソニックシティの会議室で開催しました。参加者は、武州ガス株式会社の6名で、2チームに分かれて、取り組みました。

コースは6つのモジュールがあり、モジュールは120分で、レクチャー20分+個人ワーク10分+グループワーク50分+発表15分+全体コメント10分+振り返り15分という構成です。ワークが中心なのは、アクティブ・ラーニング(能動的な学習)を取り入れているからです。講義を聞いているだけより、脳より

働かせなくてはいいませんが、そのため深い理解へと導いてくれるのです。下図は、ラーニング・ピラミッドといって、米国国立訓練研究所の研究による学習方法と平均学習定着率の関係を表したものです。

また、ポストイットに手書きで記入したものをホワイトボードに貼って、マーカーで記入しながら話し合いを行うことは「創造的非流暢性の作業」といえます。検索エンジンやAIといった流暢性に頼るより深い学びが得られるのです。

経営品質協議会 実践推進者コース講師 高橋 清

